

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チームくるーる		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 27日	～	令和7年 3月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 27日	～	令和7年 3月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されているかどうか。	送迎や日々の連絡帳のやり取り、電話連絡にて日々の困りごとの確認をおこない、それに対しどうアプローチしていくか保護者の方と一緒に考えるようにしている。	引き続き帰りの会でスケジュール確認など取り組んでいく。
2	こどもは安心感をもって通所できているかどうか。	先の見通しをもって通所できるよう前日にスケジュールの確認をおこなうようにしている。	引き続き取り組んでいく。
3	事業所の職員から共感的に支援をされているかどうか。	日々の出来事や新たな取り組み、それに対するお子様の反応を様々な方法でこまかく保護者様に報告している。	新たな連絡ツールを利用して連絡をおこなっていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋の広さ。	個室がないため子どもたちの司会を区切ることができない。 意識が散ってしまい集中力が持たない。 クールダウンの場がない。	ワンルームで過ごしているためパーティションを使用して部屋を区切って支援をおこなう。
2	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているかどうか。	非常災害の発生に備えているものにどのようなものがあるか保護者の方に周知できていないため。	準備物の提示。 訓練の様子を通信にて周知する。
3	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているかどうか。	研修参加の様子が周知されていないため。 情報共有の場が設けられていないため。	参加した記録の提示。